

イエスは 主なり



日本クリスチャン・アシュラム連盟

日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 107



祈りの三原則

コロサイ 4:2

清水 潔

目をさまして、
感謝のうちに祈り、
ひたすら祈り続けなさい。(コロサイ 4:2)

(1) 目をさまして

祈りの誘惑は眠りです。主も弟子たちに対して、「誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていない」と警告されています。しかし、彼らは肉の弱さゆえに眠り、主だけが祈り続けられました。

もし人間が眠っている時にも祈れたら素晴らしいことですが、実際には無理です。祈りは肉の弱さとの戦いであります。

目をさますとは、心の目をさますことでもあります。今の時代に目覚め、時のしるしを見逃さないようにしなければなりません。

パウロはダマスコ途上で主の栄光に照らされて以来、目が不自由になったと伝えられます。しかし、彼の霊の目は開かれ、「見えないもの」に目をそそぐ人となりました。

(2) 感謝のうた

一般の人の祈りは願い事ですが、クリスチャンの祈りは、賛美と感謝にはじまるのです。詩篇の最後は「ハレルヤ」の連発です。順境の時ばかりでなく逆境の時も感謝です。

ジョーンズ博士は「問題のあるところには必ず回答がある。それは数学と同じだ」とよく語られました。「日々の勝利」の中に、北風に暖められる日本の少女の話が出てきます。

寒い風にあたって頬が赤くなるのをユーモアに述べられたものです。

(3) ひたすら祈る

電話のベルが鳴ると待たなし、急いで受話器を取ると、三度のベルぐらいで切れてしまうことがあります。待ちきれない人のようです。出る人の身になって、十度ぐらいは待ちたいと思います。

教会の庭に榎の木があり四十年ぐらいいでしょうか。美しい葉を繁らせるだけかと思ったら、一昨年の秋頃になって、上から音をたてて栗のような実が落ちてきました。そう言えばペカンも十年目、柚子は忘れた頃に生りました。

「果報は寝て待て」でしょうか。いえ、「祈って待て」ではないでしょうか。

(関西アシュラム委員・京都復興教会牧師)



スタンレー
ジョーンズ
コーナー

説教・アシュラム創始者ジョーンズの生涯
(6) J・マシューズ

我々の時代に於て、余りにしばしば福音伝道として行われていた全体的なものとしてスタンレーの説教とを比べるとき私は驚きを覚えます。彼にとつては旧約の預言者であることと新約の宣教師であることとの間には何らの矛盾もありませんでした。この二つは、福音への応答と福音への服従として一体となるものでした。

ジョン・ウエスレーは且つて、クリスチャンは「できるだけ儲け、できるだけ節約し、できるだけ与える」べきだと言いました。初期のメソヂスト教徒は始めの二つの勧めには応じましたが、三つ目は避けました。E・スタンレーは三つの全てを実行しました。我々は証言することができません。彼は文字通り、彼の持ち物のすべて……殆ど百万弗に近い、自分の書物からの印税として得たものをつかり与えてしまいました。その結果、我々が知っている通り、何千という

若者たちがより高い教育を受ける道を備えられました。

非常に多くの方面で、スタンレー・ジョーンズは時代の先を行く人・先駆者でした。彼はアメリカのずっと南部でも、そういう発言が不人気であった時代に於ても、人種的正義のために発言しました。驚くに当りませんが、一九三〇年代に、E・スタンレー・ジョーンズとエレノア・ルーズベルトは同じ木につり下げられるべしと、よく言われました。彼は自分の集会は全ての民族に開放されるべきだと主張しました。彼はそれが人々の好む「大義」でない時にも平和のために主張しました。すでに述べたように、彼は全く最後の瞬間まで、合衆国と日本の間の戦争を防ぐ努力をしていたことが分かります。戦争が終わった時に、彼は和解者の働きを続けました。実際、彼はどこでも和解者でした。

教会の一致に就いては、全ての伝統を誠実に尊重しつつ、一致を唱導しました。人々はこの話題に就いて彼に喜んで聞き、話を受け入れられました。彼の全教会連合の考えに非常に似た何か合衆国の教会のより広い連合体の形で実現することは充分あり得ます。

今日、共同生活の価値がしばしば賞讃されています。彼は永い間の多

くの時を、一種の訓練された宗教的共同体であるアシュラムに捧げました。彼には神の国は真剣に受けとめられるべきものです。

彼は最も独特な意味で全地球的人物でした。それは全地球性ということとが普遍的な現実になるずっと以前のことでした。彼はまさにどこにでも行きました。何にもましてインドへの宣教師でしたが、全世界への宣教師となりました。五十年の間、彼はスーツケース一つの生活をしました。

今日、全体論(ホーリズム)的考え方と問題の取り上げ方が好まれます。前に見たように、テルトリアヌスは「魂は生来キリスト教徒である」と言いました。スタンレー・ジョーンズはこれを拡大しました。身体全体は生まれながらクリスチャンである……神経、血管、生命を司る器官心も……社会全体がキリストの愛に向けて造られていると。

或る人々にとり、キリスト教信仰と他の世俗的、宗教的諸信心との間の対話は新しいことでした。永年、彼は自分の円卓懇話会で、あらゆる宗教の教派、あらゆるイデオロギーの信奉者との、こうした対話に関わってきました。実際、彼は他のどんな人よりも多く、対話の経験をしてきたと言つてよいのです。

彼の永い、多忙な、実りの多いクリ

スチャン生活と働きの終りを振り返りましょう。彼は一九七一年日本に於ける二ヶ月の講演と説教の旅から帰ったばかりでした。その期間中、日本中の何十という都市で百五十三回の演説をしました。七千人以上の人々が、彼の招きに応じてキリストの弟子となることに興味を示していました。六十年以上の年月の間、このような活動が、宣教師・福音宣教師・E・S・ジョーンズの生涯の一部始終でありました。彼の絶えざる旅は地球のどの部分にもあまねく彼を伴いました。全部で彼は六万回の説教をしました。生きているどんな人よりも多いのでした。彼の二十八冊の本の読者は感動し、それらは多くの国語に訳され、何十万冊に達しました。

(百川訳)

アシュラム生活最良の友
アパ・ルーム

海老沢 宣道 編集

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物

価300円、〒90円、年2,340円(〒とも)

申込先 ☎256 小田原市国府津3-11

振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム

電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来46年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10

日本クリスチャン・アシュラム連盟



第30回関西アシュラム

第三十回関西アシュラムの報告

一九九六年十月九日(水)〜十日(木)祝の二日間、びわ湖を一望できる、大津市国際交流セミナーハウスⅡ皇子丘荘Ⅱを会場として行われ、十四教会より三十一名が参加。

ガラテヤ五章二五節の「もしわたしたちが御霊によって生きるのなら、また御霊によって進むのではないか。」とのみ言葉を中心に、主題の「御霊の啓導と充滿」の通りの恵み溢れるつどいであつた。

今回は他から講師を招かなかつたが、土山支部長を中心に、参加者全員が奉仕を分担し合つた。祈祷室における「連鎖祈祷」にはいつでも誰か

二、三名が祈り続け、朝の静聴では、近くの林の中で静かにみ言葉に聴き入つた。二回の分団(祈りの細胞)によつて交わりを深めることができたのは幸であつた。

労作の時には、全員が雑布やホウキを手に取り、よく頑張つたので、セミナーハウスの人たちも大喜び。充滿の時を終えて、最後にお互の再会を期して散会した。全国の皆さまのお祈りを感謝したい。

(清水 潔)

☆アシュラムに出席して

▽郡山教会 阿部 泰子

アシュラムには前にも出席したのですが、此の度は初めてのように強い感銘を受けました。静聴の時、聖句中の固有名詞と自分の名を入れ替えて読む、主イエスが私に何を語られているかを読み取ることを教えて頂き、目から鱗が落ちる思いでした。

近ごろ、自分の信仰の生ぬるさを何とか変えて頂きたいと思つておりました。朝先ず静まつてみ言葉に聴き、その日の侍友のために祈る。

このお約束は私の生活の建て直しの第一歩と考え、希望が湧いて、不思議にひとり目醒めます。火旺には友が自分のために祈つていて下さると思うと感謝です。このこの一年を主を見上げて励んでまいります。

▽裾野市 佐野 淳子

「あなたがわたしを選んだのではない。わたしがあなたを選んだ。」

真に取るに足りない私がかくも主に愛され、皆様との恵みの輪に連なせられ、お導きを頂きました感謝でした。

会の終わりに「慕いまつる主のみ招きある今、いづくまでも行かん。主のあとを」と声を合わせ、感謝、感激で喜びの涙があふれ、み霊の満たしを経験し、恵みの大海にこぎ出す思いでした。金牧師のアシュラムによつて教会へ入院、通院してお薬をいただくようにとのお勧めに、心満たされて励み始めました。ハレルヤ。

▽東京練馬区 永田 直子

栄光在。前日の嵐は遠く去り、アシュラムへの道が清く開かれて感謝でした。二月の城西、そして今回の関東アシュラムと参加でき、先輩の方々の準備、お世話を深くお礼申し上げます。数に足りない私が末席を汚す思いでしたが、あふれるばかりの神の愛とアシュラムの恵みの交わりを受け、自我が打ち砕かれ、新しい道を歩み出しました。

「涙と共に種を蒔く者は喜び叫びながら刈りとろう」(詩一二六・五)のみ言葉を聞き、おそれおののきつつ主なる神に従つて行きたく祈ります。

▼聖ヨハネによる福音書 D.P.タイタス著海老沢飯島共訳 価一、二〇〇円 一、二四〇円

▼御国を来らせ給え D.P.タイタス著・植村俊雄訳 価三〇〇円 千九〇円

▼インド途上のキリスト 一九八六年一〇月改定版 E.S.ジョンズ著新訳者 湖江淳一 価一、九〇〇円 千三六〇円

▼アシュラムの原則と実際 海老沢宣道 著 第三版 新書版五二頁三〇〇円 千九〇円

発行所 アシュラム連盟事務局 振替口座 〇〇一〇〇一 四五五八

日本アシュラム四十年記念出版

◆最新刊・好評◆

今世紀最大の世界的宣教師 スタンレー・ジョンズ博士著 白川鄭二・飯島庸江共訳

いかに祈るか

祈りの人スタンレーが祈りとは何か、祈りの段階と方法と実例を親切に教えている好著

新書判七〇頁

定価六〇〇円 千一九〇円

発行所 日本クリスチャン・アシュラム連盟

◆教会その他の祈祷会で用ゆるのに最適の好テキスト

編集人 白川鄭二 発行人 大石嗣郎 定価 一部60円 千80円

《スタンレーとアパ・ルーム

ゆかりの地を訪ねて》(3)

海老澤宣道

アズベリー大学の理事室には世界宣教の精神を本校に永続的なものとして植え付けてくれた二人の人、ジョンズとピケットの肖像画が飾られている。また一九八四年のスタンレー生誕百年記念の年には、神学部の中に彼の名を冠した「E・S・ジョンズ伝道と世界宣教学部」が開講された。学部長はG・ハンター博士であるが、この設立には故人と生前から親しく、印度伝道にも、また神学教育にも携わっていたJ・T・シーマンズ博士の努力があり、その教授室には最近引退した同博士の肖像を掲げ、創立者として記念している。同博士の勤めで、市内ホテルの宿泊を取り消し、神学部の迎賓館に泊めて頂く。設備の優良清潔さで遙かに勝れているとのこと。一行の夕食と朝食は同博士の接待を受けた。

第五日、五月十七日(金)、朝食後、昨日不在で面会できなかった大学長を訪ねようと、大学本部へ行った。現在の学長がM・ダンナム博士と聞いて驚き且つ喜んだ。かねて知る有名な大教会の牧師で、ラジオ伝道者として知られている。三十五冊程の名著の著者、世界メソジスト伝道協議会委員長であり、一時はアパ・ルー

ム誌の世界版編集長もしておられた。彼もスタンレーと親しく、アシュラム運動にも協力されていたので、私たちがこの両事業を推進している委員であることを非常に喜ばれ、学長自らコーヒールを供され、終りに大きな手で一同と輪を組み、太い声で力強く私たちと日本と世界平和のために祈って下さった。実に感激の一時であった。

シーマンズ博士と一学生の車で、私たちを再び美しい牧場の田園風景の中をレキシントン空港へと送って頂く。UA便でテネシー州ナッシュビル空港につく。ホテルに直行。夕刻六時に約束通り、アパ・ルームの幹部J・グラナーナ、M・レディング、D・ウエイマックの三女史とコフマン氏がロビーに来て下さる。二階の食堂で私たちと十二名が会食。日語版に対する平素の援助を感謝して、世界版編集長グラナーナ夫人に日本委員会からの記念献金を贈る。国際版の発展のために使用したいとの謝辞を受けた。その後、日米側双方からの土産物の交換などがあり、和やかな話し合いをした。グラナーナ姉とは九年振りの再会を喜び合った。

第六日、五月十八日(土)朝九時、メリーとデイルの二人が車で迎えに来て、一行をアパ・ルームの本部に案内、グラランド街一九〇八番地の一

画に伝道局、チャペル、美術館、図書館、編集部、販売部、財務部などの事務局が美しい煉瓦建築で立ち並んでいた。そのチャペルは名所の一つとして市販の地図にも記入されている。階上に入堂して先ず目につくのは正面の聖壇の壁に掲げられている木彫の「最後の晩餐」で、ダビンチの原画を、名工E・ペレグリニが立体化したもの。用材は菩提樹とクルミの木で、五十名以上が十四ヶ月間協力して完成させたという。

中央の主イエスの御顔は、世界中で最も悲しい表情を表現しており、弟子たちは夫々に芸術作品である。よく見ると、内陣の天井も、左右の壁掛けの模様も、間取りも、床板も、その上の聖卓もすべてダビンチの原画に模して別々に実物を製作して配置してある。従って内陣全体が、あの二階座敷(アパ・ルーム)になって見える。説教台は欧米の古い伝統ある教会の幾つかの例を参考にして設計されたもので、回り階段で数段高くなっている。前方左手に小さな扉があり、「ただ独り神と共に」という名の祈祷室がある。チャペルでは毎週、世界中のアパ・ルームの文書伝道のために祈られている。

美術館や図書館には欧米の中世紀以来の見事な歴史的資料が多く収集されており、良い研究の参考になる

ものばかりである。編集部の一室で、その日の午前中、本部の幹部たちとの会合をし、日語版や韓国信徒連盟に協力している三ヶ国語版の現状報告、韓国の金洪範理事長の永眠に弔文を送ったこと、来る十一月七日に日語版四十五年記念感謝会を開くこと、その他編集上の必要事項に就いて意見を交換し、意義ある会議を持つことができた。

第七日、五月十九日(日)、早朝A便でナッシュビルをたち、数時間でロスアンゼルスに到着、空港に加州アシュラムの主事ストロサー氏が出て来て午後の観光を案内して下さった。まず、グレンデイルのフォレストローン記念公園に行く。右手奥に墓苑本館があり、その中は全て大理石の墓のマンションである。

(続)

海老澤宣道の新書

神に就いての黙想

B6判、150頁、価1,300円 予240円

神との生きた対話・交わりを願いつつ繰られた信仰の随想。老熟した著者が現代の教会に問題提起しつつ語りかけるメッセージ。

発売所 キリスト新聞社

取次 日本クリスチャン・アシュラム連盟